

チケット			
入場料金(税込)	一般	大高生	中小生
当日券	1,900円	1,300円	700円
前売／団体(20名以上)	1,700円	1,100円	500円

- ・未就学児は無料(ただし、要保護者同伴)。
- ・学生料金でご入場の際には学生証をご提示ください。
- ・障がい者手帳などをご提示の方と付き添い1名までは無料。
- ・上記料金で2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます。
(催事により別途料金が必要な場合があります)
- ・前売券は2026年2月17日[火]10時～4月17日[金]までの期間限定販売。

【主なチケット販売場所】

京都文化博物館、公式オンラインチケット(etix)、ローソンチケット(Lコード:55945)、チケットぴあ(Pコード:687-401)、イープラス、セブンチケット(セブンコード:114-095)、CNプレイガイド、近鉄駅営業所など。

企画チケット

先行ペア割チケット 3,200円(税込、2枚1組、一般のみ)

- ・前期・後期の両方をご覧になりたい方や、2回観覧されたい方におすすめのおトクなチケット。2名で1枚ずつのご利用も可能です。
- ・販売期間：2026年2月17日[火]10時～4月17日[金]
- ・販売場所：公式オンラインチケット(etix)、ローソンチケット(Lコード:55945)、イープラス



交通案内

- ・地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分
- ・阪急「烏丸駅」下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
- ・京阪「三条駅」下車、6番出口から三条通を西へ約15分
- ・市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分

THE MUSEUM OF KYOTO
京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

関連イベント

①～④は要事前申込、先着順。

いずれも本展入場券の提示が必要。

*申込方法等、詳細は博物館公式サイトをご覧ください。



①講演会「原安三郎が愛した北斎と広重」

日時：4月18日[土]10:30-12:00

講師：小池満紀子氏(中外産業株式会社取締役美術品担当、国際浮世絵学会常任理事)

参加費：無料 *別途、本展入場券(半券可)が必要

場所：3階フィルムシアター

定員：150名

②手ぬぐいを藍で染めてみよう！

江戸時代にも用いられていた、日本古来の藍建て方法「天然灰汁発酵建て」による藍染めを体験していただけます。京都・伏見にて、タデアイの栽培からすくも造り、藍建て、藍染め、制作までを一貫して行っている西村尚門氏を講師にお迎えします。当日は手ぬぐいを染め上げていただけます。

※完成した手ぬぐいは、お持ち帰りいただけます。



日時：5月9日[土]、10日[日]

各日11:00-13:00-/14:30-/16:00-(1時間程度)

講師：西村尚門氏(藍師・染師、Draw Dots Dawn代表)

参加費：5,000円(税込/材料費含む) *別途、本展入場券(半券可)が必要

場所：別館 中庭

定員：各回8名

③北斎が愛した顔料「藍蜚」を作ってみよう！

葛飾北斎が用いた青い顔料は「北斎ブルー」とも呼ばれ、ペロ藍による鮮やかな発色で知られています。一方、北斎が著した『絵本彩色通』には、「藍蜚(あいろう)」という顔料の製法が記されています。本体験では、この製法を踏襲して顔料を作り、その藍を用いて和紙のしおりを制作します。

※完成したしおりは、お持ち帰りいただけます。



日時：5月23日[土]10:30-(2時間程度)

講師：西村尚門氏(藍師・染師、Draw Dots Dawn代表)、内藤紫帆氏(造形作家)

参加費：1,000円(税込/材料費含む) *別途、当日の本展入場券が必要

場所：3階やすらぎコーナー(展示室内)

定員：30名

④木版印刷を体験しよう！

木版印刷の伝統技術を継承する摺師が、『富嶽三十六景 凱風快晴』の版木を使って、北斎が用いた藍蜚やペロ藍などの色の摺りを実演します。摺りの工程を通して、藍の発色の違いを見比べてみましょう。その後、実際に藍蜚を用いて、絵葉書に木版の摺りを体験いただけます。

※完成した絵葉書は、お持ち帰りいただけます。



日時：5月23日[土]14:30-(1時間程度)

講師：平井恭子氏(摺師)

協力：芸艸堂

参加費：1,500円(税込/材料費含む) *別途、当日の本展入場券が必要

場所：3階やすらぎコーナー(展示室内)

定員：30名

⑤学芸員によるギャラリートーク

事前申込不要。参加費無料(ただし、当日の入場者に限る)

日時：4月21日[火]、5月1日[金]、5月19日[火]、6月5日[金]

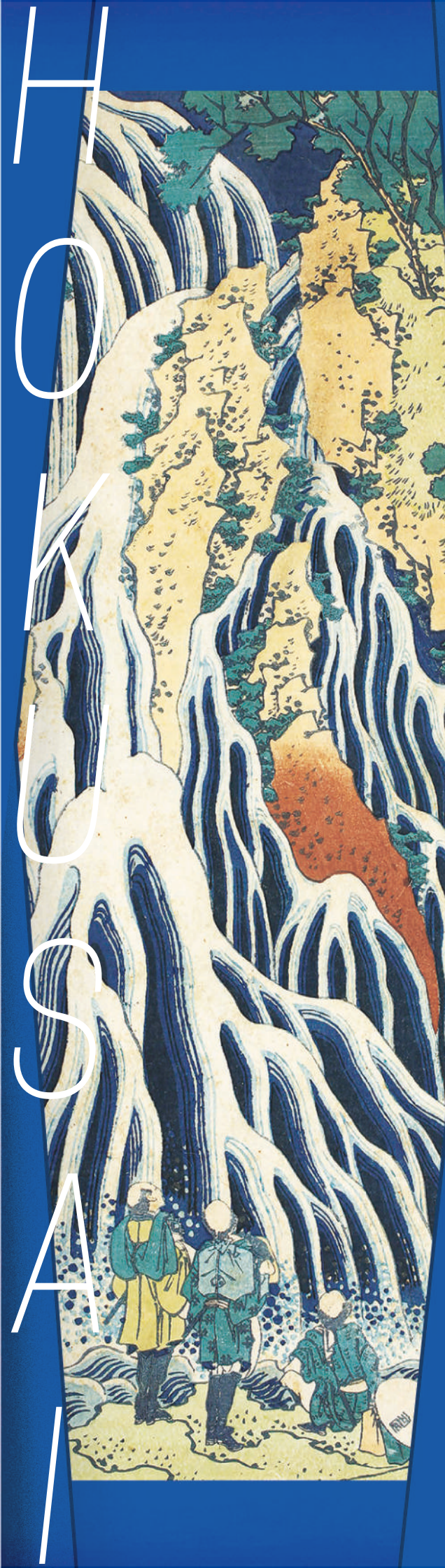
各日14:00-(30分程度)

場所：4・3階展示室内

音声ガイドやオリジナルグッズも準備中！

最新の情報は博物館公式サイトをご覧ください。

*記載内容に変更が生じる場合があります。



Hokusai and Hiroshige:
Works from the Hara Yasusaburo
Collection

北斎×広重

2026年
4月18日[土]
6月14日[日]

京都文化博物館

THE MUSEUM OF KYOTO

開室時間 10時～18時(金曜日は19時30分まで) 入場はそれぞれ30分前まで
休館日 月曜日(5月4日開館)、5月7日[木]
前期展示 4月18日[土]～5月17日[日]
後期展示 5月19日[火]～6月14日[日]
※前後期で展示替えを行います。
主催 京都府、京都文化博物館、毎日新聞社 特別協賛 日本化薬 特別協力 中外産業
後援 (公社)京都市観光連盟、(公社)京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都
左 歌川広重(武岡金沢八勝夜景)〔部分〕前期展示、右 葛飾北斎(諸国瀬廻り)下野黒髪山きりふりの滝〔部分〕後期展示
いずれも中外産業株式会社原安三郎コレクション

動

大胆かつ独創的な構図によって
自然の迫力と、
その中に生きる人間を
ユーモラスに描きました。

葛飾北斎

KATSUSHIKA Hokusai [1760-1849]

Creative, Unique



《富嶽三十六景 凱風快晴》
〔後期展示〕右
《富嶽三十六景 駿州江尻》
〔前期展示〕左



富嶽三十六景

SERIES

北斎の代名詞！ Hokusai's signature works of Mt.Fuji！



《千絵の海 甲州火振》〔後期展示〕

千絵の海

SERIES

夜空にきらめく星の表現に注目
Observe the expression of sparkling stars in the night sky.



《諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝》〔後期展示〕

諸国瀧廻り

SERIES

森羅万象を描きつくす
Supreme depictions of mother nature.

傑出の摺色
この“藍”を見よ！

財界の重鎮として活躍した日本化薬株式会社元会長の原安三郎氏(1884-1982)が蒐集した浮世絵コレクションから、葛飾北斎や歌川広重を中心に、初公開の江戸期の肉筆画の優品も加え、約220件を紹介しします。

2005年に初公開された本コレクションは、一個人の蒐集家の所蔵としては、質と量ともに最大級の発見と評されました。原氏は、蜂須賀藩の普請方をつとめた家系に生まれ、父親は徳島特産の藍を扱っていました。氏の優れた審美眼にかなった作品は摺りの発色が鮮やかに保たれています。シリーズ作品が欠くこと無く全て揃った「揃物」であることも大きな特徴です。北斎・広重が描いた江戸の豊かな世界をご堪能ください。

This exhibition presents about 220 masterpieces of Edo-period ukiyo-e, including famous landscape series by Katsushika Hokusai and Utagawa Hiroshige, along with outstanding original paintings (nikuhitsu-ga) by other artists—several shown to the public for the first time. All pieces come from the private collection of Hara Yasusaburo (1884-1982), former chairman of Nippon Kayaku Co., Ltd., and a prominent business leader who also served in the Federation of Economic Organizations.

名所絵シリーズを“揃い”で楽しむ！

名所絵

日本各地の有名な風景を描いた「名所絵」において、北斎と広重は二大巨頭といえます。各シリーズが揃いで見られることは貴重なチャンスです。

Meisho-e is a genre depicting famous landscapes from across Japan. People in the Edo period would gaze at these paintings and let their imaginations run wild as they savored the thrill of travel.



歌川広重《東海道五拾三次之内 庄野 白雨》〔前期展示〕

特集 原安三郎の慧眼

コレクションには、浮世絵師たちが1点ずつ直筆で描いた肉筆浮世絵も多く含まれます。北斎へとつながる宮川長春や勝川春章、広重へとつながる歌川豊春や豊広の作品のほか、上方で活躍した月岡雪鼎をはじめとした初公開作品も並びます。原氏の慧眼にかなった近代の作品も交え、江戸初期から近代に至るコレクションの広がりを紹介します。

肉筆画

浮世絵では絵師、彫師、摺師のわざの粋を、肉筆画では絵師の色彩感覚の美しさをじかに楽しむことができます。
Nikuhitsu-ga is a style of painting in which the artist executes all drawing and painting processes. The term “nikuhitsu ukiyo-e” is used in comparison to “ukiyo-e”, which are typically prints produced by a team.

月岡雪鼎《野辺美人図》
〔前期展示〕：左
歌川豊春《遊女と禿図》
〔後期展示〕：右

初公開



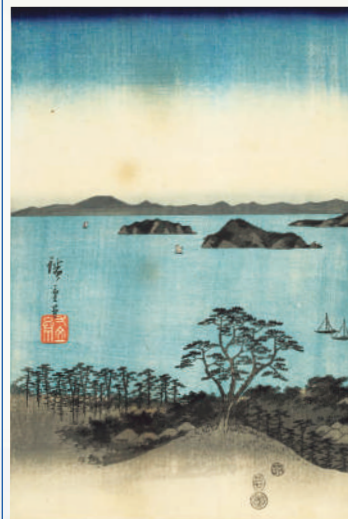
静

穏やかな色彩感覚で
季節の移り変わりや天候、
そして人々の営みを
あたたかな眼差しで
表現しました。

歌川広重

UTAGAWA Hiroshige [1797-1858]

Gently, Emotionally



《武陽金沢八勝夜景》〔前期展示〕

雪月花

SERIES

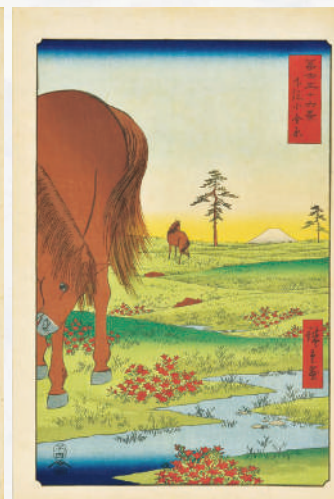
揃

三枚続で見せる広遠な世界 Triptych works depicting the beauty of the vast world.

富士三十六景

SERIES

北斎と比較して楽しむ Enjoy the comparison with the works of Hokusai.



《富士三十六景 下総小金原》〔前期展示〕右
《富士三十六景 相模江之島入口》〔後期展示〕左

京都名所之内

SERIES

広重の描く叙情的な京都に遊ぶ
Wander through the lyrical cityscape of Kyoto depicted by Hiroshige.



《京都名所之内 あらし山満花》〔前期展示〕

東海道五拾三次之内

SERIES

広重の出世作を全て見る
All of the works that brought fame to Hiroshige.



《東海道五拾三次之内 吉原 左富士》〔後期展示〕